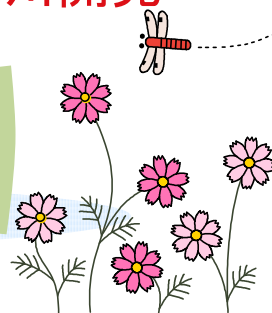


思川だより

平成29年9月1日 第59号



付替道路関連工事の状況

現在、思川開発建設所では、付替県道関連工事として「2号トンネル工事 (H28.10.1～H29.12.20)」、「5号橋上部工工事 (H28.10.5～H29.12.8)」、「粟沢7工区その2工事 (H28.10.29～H30.1.11)」の3工事を、また、付替県道全線開通前の一時的な迂回路として「中村地区取付道路工事 (H29.1.7～H29.10.3)」を実施中です。このうち「5号橋上部工工事」は、鋼材で作られた橋長76mの橋を架ける工事です。昨年10月に製作を開始し、7月に橋桁の架設を完了しました。その後、橋桁の上に鉄筋コンクリートの床版（車両が走行する部分）を作る作業を行っています。

付替林道関連工事については、「和田6工区他工事 (H29.3.8～H30.3.10)」、「笹之越路4工区他工事 (H29.3.8～H30.2.20)」、「西ノ入1工区他工事 (H29.3.14～H30.2.26)」の3工事を実施しており、道路新設のための掘削や盛土の作業を行っています。



付替県道5号橋上部工工事

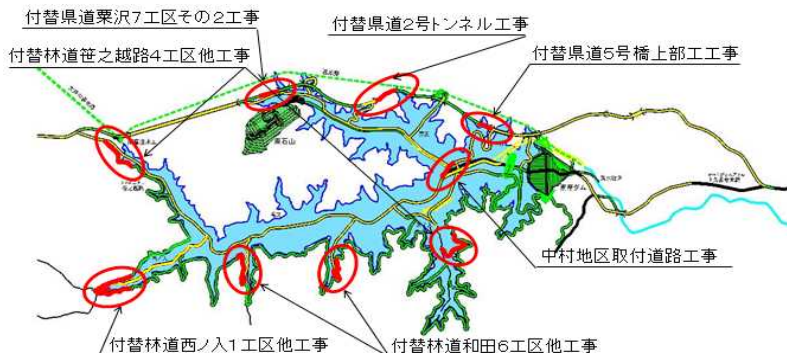
【上部工架設状況(平成29年7月)】



付替林道和田6工区他工事

【施工状況(平成29年8月)】

工事を進めるに当たっては、引き続き騒音・振動・濁水に対する環境保全対策を行うとともに、工事車両の通行などの安全対策にも万全を期して参ります。皆様方には引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



実施中の付替道路関連工事位置図 (平成29年8月末時点)

平成29年度 優良工事等表彰

思川開発建設所では、毎年、特に優れた成績等を収めた工事や業務について表彰を行っています。

本年度は、平成28年度に実施した工事及び業務の中から「安全管理優良工事表彰」1件、「優良業務表彰」1件、「優秀技術者表彰」2件が選出され、7月26日に思川開発建設所において表彰式が行われました。

表彰状の授与後に当建設所の高橋所長が「平成36年度の事業完了に向けて地域の方々との調和や高い技術力が求められる。受賞者には他社の模範となるようお願いしたい」と挨拶をしました。これに対し、受賞者の代表からは「これから事業が本格化する中で、培ってきた知見をもって事業推進に尽力していく」と謝辞が述べられました。

この表彰は、施工技術の向上と安全意識の高揚等を図り、事業を円滑に推進するために実施するものです。引き続き、当建設所と受注者の連携を強め、i-Constructionの活用など根本的な生産性の向上、効率化及び高度化を図る取組を積極的に推進していくとともに品質の向上や安全管理に努めてまいります。



受賞された皆様と建設所長(前列)

上下流交流「水のふるさと見学ツアー」

8月27日(日)、栃木県鹿沼市及び埼玉県白岡市しらおかし主催の「水のふるさと見学ツアー」が開催され、白岡市在住の親子15組(30名)が水源地である鹿沼市を訪れました。ツアーは水の大切さやダム役割について学ぶとともに、水源地の生活や文化を通じて交流体験を行うもので、「水のふるさと」を知る絶好の機会となりました。

当日は、水を取り巻く環境や水の大切さなどを学んだ後、地元上南摩町自治会の皆様の協力のもと、親子でそば打ちを体験され、参加者全員が地元名産のそばに舌鼓を打たれていました。

昼食後は、当建設所職員の案内により、南摩ダム建設予定地や完成前の付替道路トンネルなどを見学しました。また、南摩川の源流部に立ち寄り、水源となる川の始まりを確認しました。暑い最中での見学となりましたが、参加者の皆さんは熱心に説明に耳を傾けていました。その後、参加者の皆さんを乗せたバスは市内へと移動し、鹿沼今宮神社祭かぬまいまみやじんじやさいの屋台行事(ユネスコ無形文化遺産)の絢爛豪華な彫刻屋台くみこの見学や鹿沼の伝統工芸「組子」作りなどを体験されました。参加者の皆さんにとって、夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか。



楽しそうにそばを打つ参加者のみなさん



ツアーでは南摩川源流の見学も

頻発する豪雨

近年、豪雨が頻発していると言われています。今年7月の九州北部豪雨や平成27年9月の関東・東北豪雨も記憶に新しいところです。「線状降水帯^{せんじょう}」という気象用語もよく耳にするようになりました。

線状降水帯の特徴は、同じ地域に長時間にわたりバケツをひっくり返したような猛烈な雨が降り続けることです。その時にダムがあれば大量の水をダム貯水地に一旦貯めることにより、下流の洪水被害を軽減することができます。

秋は台風シーズンでもあります。日頃から豪雨への防災意識を高めていきましょう。

警察合同パトロール

南摩ダム事業用地内で、過去に不法投棄や盗掘などが発生したことから、進入防止柵や周知看板の設置などの対策をしています。

再発防止や工事による工事現場の変化を確認してもらう事を目的として、8月1日(火)に鹿沼警察署^{にしざわ}(西沢駐在所及び口栗野^{くちあわの}駐在所)の協力のもと、合同パトロールを実施し、署員の方から重点的に監視すべき場所等の防犯指導を頂きました。

引き続き不法投棄防止の監視パトロールや対策を実施します。



パトロールの様子

思川散策

<思わず行きたくなる思川>を発見する「思川散策」。

今回は鹿沼市から思川を下り小山総合公園をピックアップ!

思川の涼風とともに 小山総合公園で晩夏を楽しもう!

小山駅から約3キロ南西にある小山総合公園は、夏から秋にかけてのお薦めスポット。近くを流れる思川や公園内の噴水は、まだまだ厳しい暑さを和らげます。青々とした芝生地帯の中にジョギングやスポーツ、更にはバーベキューのほか、大型遊具や変わり種自転車など、散歩から食事、運動まで様々な楽しみ方ができる施設があります。ひとりでも友達や家族とでも楽しむことができます。SNSに載せたいような行事も開催され、6月にはホテル鑑賞会、11月には熱気球の体験搭乗等ができる「おやまバルーンフェスタ」などが例年開催されています。是非出かけてみてはいかがでしょうか。



青空と青芝のコントラストでリフレッシュ!



近くを流れる思川はとても澄み渡っています。

その他の道中スポット

▼道の駅思川：新鮮な地産野菜や特産品がたくさん!

▼思川桜：小山市原産の桜。

上南摩の動植物



和名：ゲンジボタル（鞘翅目、ホタル科）

分布：本州、四国、九州

○栃木県：要注目（「栃木県版レッドリスト2017改訂版」における着目すべき種の選定基準による）

ホタルは、日本国内で54種が確認されていますが、すべてが発光するわけではありません。また、他の多くの種が幼虫期も含め陸生であるのに対し、ゲンジボタルは幼虫期を水中で過ごす日本固有種のホタルです。栃木県内では全域に広く分布していますが、平野部、都市部での減少が顕著となっています。



南摩川やその支流（沢）沿いの県道や林道の水辺でも、ゲンジボタルが飛び交う幻想的な光景を見ることができます。



（※前号のコーナーでご紹介しましたアズマヒキガエルは、毒液を分泌するカエルです。素手で触れないようお願いします。）

下

野

か

る

た

栃木県内の地元かるたを用いて、

様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。

引き続き、『下野かるた』（栃木県文化協会発行）からの紹介です。

＜生子（いきこ）神社の泣き相撲＞

鹿沼市縦山町にある生子神社には、病気で死んだ子どもを御祭神が生き返らせたと言う伝説があり、幼児の健康を祈願する親が多いそうです。毎年9月19日の例祭に「泣き相撲」と呼ばれる神事が奉納されます。

まわしを締めた氏子に抱かれた幼児が土俵に上がり、行司の軍配で高くふり上げられ、元気な泣き声を競います。

「泣く子は育つ」と言われているため、先に泣いた方が勝ちとされていましたが、現在は両者勝ちとなるそうです。



編集後記

まだまだ続く夏には打ち水がおすすめです。陽が出ていない時間に、地面に水を撒くと地面の温度が2～3度下がると言われています。省エネとして、雨水などの再生水で是非実践してみたいか？

これから、季節は夏から秋へと移ろうとしています。

季節の変わり目は体調を崩しやすいので、皆様のご自愛をお祈り申し上げます。

次回も『実りある』思川だよりをお届けしていきます！



打ち水している編集委員

お知らせ

▼思川開発建設所では、随時、現場をご案内いたします！詳しくはお電話またはHPをご覧ください！

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.htm>

思川開発

検索